

とよたち

美肌
通信

1月号

Vol.54



新年 明けましておめでとうございます。

2015年1月とよ・たちのスタートを飾って下さった
お正月らしい新年を感じさせる素敵な絵です。

趣味は野球と魚釣りで、鬼ごっこや鉄棒が好きな男の子が描いて下さいました。

今年も元気に明るく遊んで笑顔いっぱいの1年にして下さいね!

2015年も皆様にとって、幸多き1年となりますように...



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮ふ科クリニック*

皆様、新年明けましておめでとうございます。
新春のおよこびを申し上げます。昨年もご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

近年はスピード化の時代で世の中はめまぐるしく変化しています。そのため企業も学びと歩み（前進）を忘れるとやがて衰退します。以前耳にした話です。
ある地方の神社が 50 年前に修復工事を行い、近隣の 100 の会社はその協賛寄付を行ったそうです。時は経ち、50 年後の今、存在し続けている会社は 1 社のみで、しかも業務体系を変えているそうです。
ある統計によると 100 年企業（100 年もつ企業）は 1000 社のうち 2~3 社だといいます。実に 0.2~0.3% という世界です。企業経営の難しさを表わした数値です。
そんな中、日本には 200 年以上続いている会社が 3000、韓国は 0、中国は 9 社あるという話です。話は続いてこう説いています。長続きする会社に共通することは、第 1 に創業理念を大事にしているということ。その時代その時代のトップが常に創業理念に命を吹き込み理念を核に時代の変化に対応していくこと。
2 つ目は情熱だといいます。その情熱を全社員が共有していること。3 つ目は謙虚。慢心こそが、企業発展の妨げになることを知る様、その話は戒めています。最後の一つは誠実であること。
そして、これら 4 つのことには共通項があります。
それは変わってはいけないこと、忘れてはいけないことだとしめくくっていました。「変わらず忘れないこと」これを「不易」というそうです。また、「不易流行」という熟語があります。「流行」とは時代と共に移り変わっていくもの、また変えていかなければいけないことです。つまり企業経営は「不易流行」のバランスが大切であり、その上に成り立っているのだと思います。
変えるものと変えてはいけないものをどう見極めるか、ということが長く続くことが出来る企業か否かだとある方がしめくくっていました。
さて、2015 年は当院は開業 5 周年を迎えます。
これからも私自身が開業時に掲げた職員信条と職員理念に基づき、「不易流行」を貫き、皆様のニーズにお答えすべく改善と進化を怠ることなく実行していく所存でありますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

院長・拝